

東奥日報
2025年(令和7年)3月7日(金曜日) (21)

八工大野球部
監督に山下氏

工大一の元監督

八戸工業大学は6日、同大で会見を開き、硬式野球部の新監督に、八戸工業大学第一高校の硬式野球部を監督として春夏通算5度甲子園に導いた山下繁昌氏(70)が就任したと発表した。就任は今月1日付。

山下氏は兵庫県出身。

名門・報徳学園高、日大



1部昇格へ向けた意気込みを語る山下新監督。6日午後、八戸市の八戸工業大

でプレーし、1978年から八工大一の指揮を執った。2008年までの30年間で同校を春1度、夏4度甲子園に導き、1987年春には8強入りを果たした。2008

年以降は総監督となり、15年の定年退職に合わせ退任。21〜25年2月は名久井農高の監督を務め

た。八工大硬式野球部はこれまで、専任の監督がおらず教職員が兼務していた。学生主体の練習がほとんどで、18年秋以降は北東北大学野球リーグ2部に所属。早期の1部への昇格が課題となっていた。

た。八工大硬式野球部はこれまで、専任の監督がおらず教職員が兼務していた。学生主体の練習がほとんどで、18年秋以降は北東北大学野球リーグ2部に所属。早期の1部への昇格が課題となっていた。

硬式野球部の阿波稔部長は会見で「指導体制と練習環境の改善のほか、高校の指導者との広いパイプを生かした選手育成にも貢献していただきたい」と期待を込めた。

山下新監督は「『やってやろう』という熱い気持ちになった。攻守ともに攻めていく野球を持ち味に、選手と目標を一つにして戦っていく」と意気込みを語った。

(棟方好華)

※「この画像は該当ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」